

10月新着図書

おひとり3冊まで、2週間（新着本は1週間）借りられます。

野庭すずかけコミュニティハウス

三体

著者名：劉慈欣

リクエスト
ありがとうございます
ございます

物理学者の父を文化大革命で惨殺され、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。失意の日々を過ごす彼女は、ある日、巨大パラボラアンテナを備える謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが、極秘裏に進行していた。数十年後。ナノテク素材の研究者・汪森は、ある会議に招集され、世界的な科学者が次々に自殺している事実を告げられる。その陰に見え隠れする学術団体“科学フロンティア”への潜入を引き受けた彼を、科学的にありえない怪現象“ゴースト・カウントダウン”が襲う。そして汪森が入り込む、三つの太陽を持つ異星を舞台にしたVRゲーム『三体』の驚くべき真実とは？

上級国民／下級国民

著者名：橘玲

リクエスト
ありがとうございます
ございます

「下級国民」を待ち受けるのは、共同体からも性愛からも排除されるという“残酷な運命”。一方でそれらを独占する少数の「上級国民」たち。ベストセラー『言っではいけない』の著者があぶり出す、世界レベルで急速に進行する分断の正体。

百舌落とし

著者名：逢坂剛

かつて新聞社編集委員の残間が追いかけた、商社の違法武器輸出。過去の百舌事件との関わり合いを見せたことから露わになったこの事件は、一時的な収束を見た。しかし、そこへ新たな展開が訪れる。元民政の議員、茂田井滋が殺されたのだ。しかも両目のまぶたの上下を縫い合わされた状態で。既に現役を退いている彼の殺害理由は何か。彼は何を知っていたのか。探偵となった元警視庁の大杉、彼の娘で現役警官のめぐみ、公共安全局にいる倉木美希はそれぞれ独自に捜査を始める――。

虹にすわる

著者名：瀧羽麻子／著

職人気質の先輩と、芸術家肌の後輩。性格も能力も正反対のアラサー男子が、“10年前の夢”を叶えることにした。海沿いの町の小さな椅子工房で夢の続きを見ることにした“こじらせ男子”ふたりの、友情と奮闘の物語。

地先

著者名：乙川優三郎

出版者：徳間書店

リクエスト
ありがとうございます
ございます

心は、色褪せてはいない。人生の後半にさしかかった女と男。艶めいた思い出と、思いがけない出来事で揺れる。八篇の物語がかきたてる勇気と感動。

罪の轍

著者名：奥田英朗

昭和三十八年。北海道礼文島で暮らす漁師手伝いの青年、宇野寛治は、窃盗事件の捜査から逃れるために身ひとつで東京に向かう。東京に行きさえすれば、明るい未来が待っていると信じていたのだ。一方、警視庁捜査一課強行班係に所属する刑事・落合昌夫は、南千住で起きた強盗殺人事件の捜査中に、子供たちから「莫迦」と呼ばれていた北国訛りの青年の噂を聞きつける。オリンピック開催に沸く世間に取り残された孤独な魂の彷徨を、緻密な心理描写と圧倒的なリアリティーで描く傑作ミステリ。

落花狼藉

著者名：朝井まかて

戦国の気風が残る、江戸時代初期。葦の生う辺地に、ひとつの町が誕生した。徳川幕府公認の傾城町、吉原だ。公許は得ても、陰で客を奪う歌舞妓の踊子や湯女らに悩まされ、後ろ楯であるはずの奉行所には次々と難題を突きつけられる。遊女屋の女将・花仍は傾城商いの酷と華に惑い、翻弄されながらも、やがて町の大事業に乗り出す――。

命あれば

著者名：瀬戸内寂聴

季節の移ろいを愛で、新しいことに挑戦し、死と生と老いを思い、懐かしい人々を偲んで、非情な事件や荒廃した政治を憂う。いくつになっても喜び、笑い、怒り、嘆き、命がある限り生きる情熱は失いたくない――。97歳の著者の真摯な言葉があなたの心をときほぐす、不安な時代を幸福に生きるための心がまえ62話。

格闘

著者名：高樹のぶ子

駆出しの作家だった私は、忘れられた柔道家の型破りな人生を追い始めるが、いつしか迷路に入り込み――達人が切り拓く新しい恋愛小説。

〇

著者名：〇

出版者：〇